

9.18さようなら原発首都圏集会



「さようなら原発」一千万署名市民の会は、9月18日に日比谷野外音楽堂において「9.18 さようなら原発首都圏集会」を開催し、1300名(主催者発表)が参加、ひがし労から12名が参加しました。

集会では、主催者代表の落合恵子さんから「責任はあると言いつながらとらない人が、この国を7年8カ月動かしてきた。でも、許してきてしまったのは私達かもしれないと思うと忸怩たる思いになる。責任をとらせることが私達にできること。永田町は相も変わらず。沖縄の苦悩は放置されたまま。福島第一原発を大きな風呂敷で包んで隠して五輪はありえない」と挨拶されました。

参加者からは、「コロナ禍でも多く参加者がいて驚いた。地道に原発政策の失敗を訴え、行動していることに敬意を感じた」「原子力事故の犠牲や被害が今もなお続いていることが認識できた」「世論へ働きかけ、伝える行動や集会など継続して開催し、闘う我々の意識を向上させていくことが大切」などの感想が出されました。

